

伊勢湾貧酸素情報（第3報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

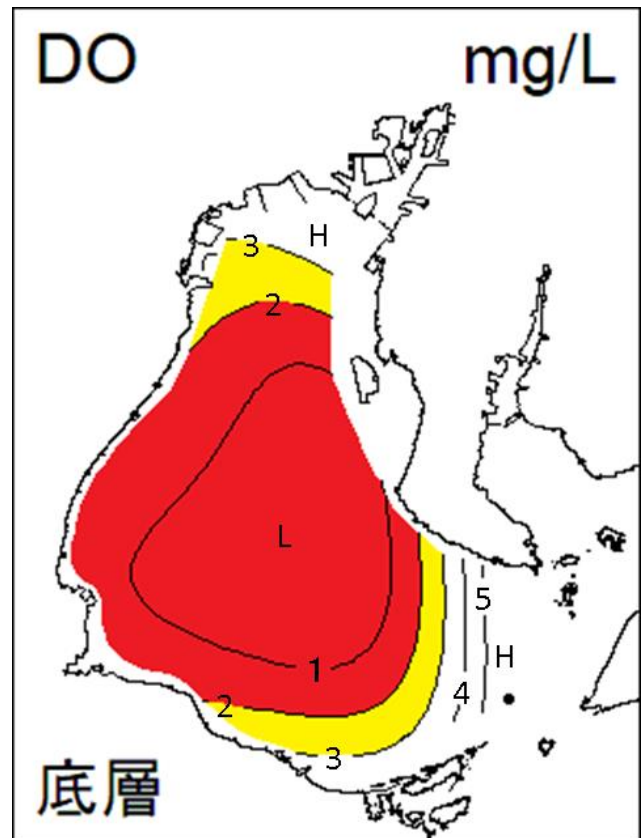
8月6日の調査結果

8月6日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 28.7～30.9℃、10mで 24.2～27.0℃、底層で 19.6～24.9℃の範囲にあり、表層は平年よりかなり高め、10mは平年よりやや高め、底層は平年より高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.1～11.9 mg/L、10mで 2.4～6.9mg/L、底層で 0.1～6.1 mg/Lの範囲にあり、表層は平年並み、10mは平年よりやや低め、底層は平年より低めとなっていました。

底層では、先月の観測時よりやや規模が縮小したものの、依然として広い範囲で 2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されていました。

表層と底層の水温差が大きいことなどにより、海水の上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図